

各種管材(パイプ)の水を用いた耐圧試験

1. 概要

圧力を受ける管材(パイプ)に対して、完成時や改造時および定期点検時に水密性を確認するために、水を用いて加圧する試験を耐圧試験といいます。

弊社では、JIS規格等に準ずる**各種パイプ(鋼管、ポリエチレン管等)**の水を用いた耐圧試験が可能です。
(油を用いて加圧する圧力試験についてはHRM-1622「電動油圧ポンプによる圧力試験」をご参照ください)

【関連JIS規格】

- ◆ JIS G 3459 「配管用ステンレス鋼鋼管」 13.5耐圧性能試験
- ◆ JIS S 3200-1「水道用器具—耐圧性能試験方法」 等

2. 試験方法と仕様

試験方法

試験手順を①～⑤、試験方法略図を図1に示します

- ① 試験体をフランジとボルトで固定します
- ② 試験体に水道水を充填します
- ③ 試験体の空気抜きを行います
- ④ 圧力ポンプで指定の圧力を規定時間負荷します
- ⑤ 記録計及び目視で圧力の低下、漏れの有無を確認します

試験可能範囲

- ① パイプ長さ : 4 m以下
- ② パイプ径 : ϕ 180 mm以下
- ③ 水圧 : Max 3 MPa

試験体サイズ、圧力等についてはご連絡頂ければ上記仕様以外でも検討致します。

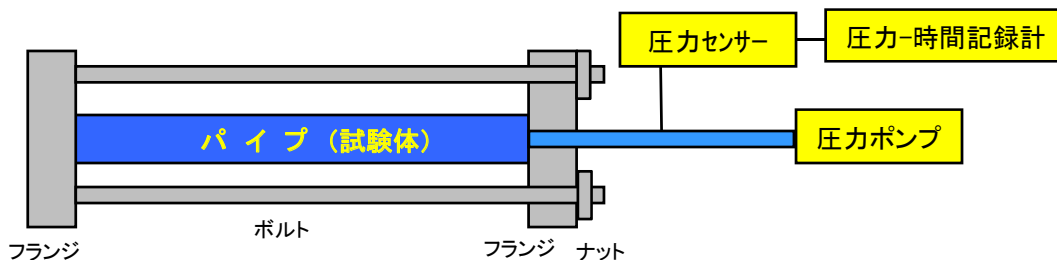


図1 試験方法略図

3. 試験結果

圧力の低下と水漏れの有無確認

水圧試験結果報告書の作成

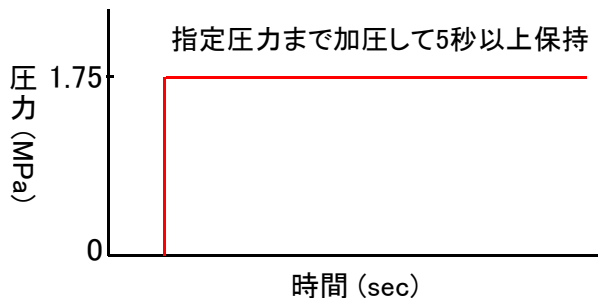


図2 耐圧試験結果例

割れ、破損、その他異常なし